

令和7年度第1回朝来市創生会議意見まとめ

【意見交換①】事業目的やKPI達成に向けての改善が必要なこと

基本目標1 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり

◆ASAGOINGな人を育む

◎市民一人一人が自分らしく生き生きと活躍しながら「まち」とつながる ASAGOINGな人づくり

朝来市創生会議意見

- ①地域と連携した学校の割合を示す指標について、100%達成している指標をKPIに設定していると評価ができない。指標設定の見直しを検討することが必要。
- ②住んでいる地域に愛着や誇りがある市民の割合について、KPIが達成できていないが、そもそも他市と比べて高いのではないか。朝来市の強みなのかもしれない。他市と相対比較して評価するなど、別の評価方法も必要かもしれない。
- ③まずは、参加していない人を参加させるきっかけが必要。参加を促すため、地域行事などの参加で行政ポイントを附与できるような仕組みがあれば、さらに参加が促進されるのではないか。（最初はポイント目的が、人に会いに行くことが目的になる。）

◎市民一人一人が好きなこと・得意なことなどを地域社会で發揮し多様な活動を促進するひとづくり

朝来市創生会議意見

- ①やりたいことを通じた集える場所が必要。
- ②地域自治協議会や地域活動において、定年退職した人（特に男性）の居場所づくりが大切。男性は役割を与えるといきいきとしている場合が多い。
- ③（若い子育て世代は）インスタグラムなどのSNSのアカウントを共有し、情報交換・情報収集している。
- ④多様な人が話せる場所や人をつなぐ仕組み（又は取り組み）が必要。

◆ASAGOINGな仲間づくり

◎移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大による ASAGOINGな仲間づくり

朝来市創生会議意見

- ①移住・定住を希望する人に（不動産業者のように）物件を紹介するのではなく、空き家や地域と希望者を「お見合い」させるような気配りのある対応が必要。
- ②地域を教えるキーパーソン（「おせっかい」をしてくれる人）が必要。
- ③（若い子育て世代は）インスタグラムなどのSNSのアカウントを共有し、情報交換・情報収集している。（再掲）
- ④住み続ける前提の人に住み続けたいと聞いても回答しようがない。移住して10年未満の人などに聞かないと意味がないのではないか。

◎結婚を希望する人の出会いの機会の創出

朝来市創生会議意見

- ①大規模な婚活イベントは継続的に実施すべき。
- ②（田舎版）マッチングアプリを導入してはどうか。

◎移住者や在住外国人などの地域の受け入れ体制の充実

朝来市創生会議意見

- ①（在住外国人についても移住者などと同様に）地域に溶け込むには、キーパーソン（「おせつかい」してくれる人）が必要。
- ②ファミリー・サポート・センター事業が充実することで、多様な働き方を支援するだけでなく、移住・定住にもつながる。ただし、この事業を地域自治協議が実施しようとすると、施設の条例上の制約がある。柔軟な対応が求められる。

◎一人一人の行動につなげる情報発信の充実

朝来市創生会議意見

- ①（市も報道機関も）昨年と同じ記事が多い。
- ②情報が届いていないのではなくて、発信している内容を求めていないのではないか。求めている情報を適切に発信できているのかは疑問がある。
- ③就労にすることで、市の情報を知る時間が少ない（少なくなるため）、若い世代は知らない情報が多いのではないか。

基本目標2 魅力ある多様な「しごと」づくり

◆内発的な経済成長

◎市内企業で働く人材の確保

朝来市創生会議意見

- ① 市内で働く人の成功モデルなどを公開していく必要がある。
- ② 仕事での技能を競える場を提供することで、学生等にもアピールができるのでは。

◎市内企業等の稼ぐ力の向上

朝来市創生会議意見

- ① 新規創業件数は商工会や金融機関の支援件数が入っていないと思われるので、すべて含めた件数にできるかを確認するべき。
- ② 商工会や金融機関と行政の連携強化が必要。
- ③ スモールビジネスを増やす取り組みがもっと必要ではないか。
- ④ KOUBA での創業支援についても KOUBA の任期後の受け皿が必要。

◎誰もが安心して希望に応じたやりがいのある働き方の実現

朝来市創生会議意見

- ① 女性の働きやすさには家を不在にできる環境づくりが必須。
- ② 柔軟な勤務形態なども今後必要になってくる。
- ③ コミュニティ内で子育てなどを助け合える環境づくりが必要。

◆交流人口拡大による経済循環活動の促進

◎朝来市の強みを生かした観光誘客の推進

朝来市創生会議意見

- ① 団体旅行から個人旅行へのシフトが顕著した中での観光施策が必要。
- ② 新しいコンテンツの構築が必要。

◎観光客一人当たりの観光消費額の拡大

朝来市創生会議意見

- ① 観光ガイドで稼ぐことができるモデルが必要ではないか。

◎インバウンド観光の推進

朝来市創生会議意見

- ① インバウンド観光の扱い手づくりに取り組まなければならない。
- ② コンシェルジュのように観光ルート等を構築し、ガイドまで行うことができるとインバウンド観光も増えるのでは。

◆儲ける農林畜産業への転換

◎農林畜産業の担い手の確保・育成

朝来市創生会議意見

- ① 土地の貸出等にハードルがあり、特に市外出身者が利用できる農地が不足している。
- ② 土地取得等のサポートできる体制が必要。

◎農業所得の向上に向けた取組の推進

朝来市創生会議意見

- ①スマート農業などで効率性等をあげたいが、機械費が高いため導入のハードルが高い。
- ②農業をバックアップする組織を検討する必要がある。

◎生産量拡大や作業負担軽減・低コスト化に向けた新たな農林畜産業の推進

朝来市創生会議意見

※意見なし 「◎農業所得の向上に向けた取組の推進」の内容に包含されている部分はあると思います。

◎森林の利活用の推進

朝来市創生会議意見

- ① 人材不足の解消のために、森林大学への学費補助などを検討する必要がある。

【基本目標3】誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり

◆地域コミュニティを基盤とした誰にも居場所と役割のあるまちづくり

◎地域特性を生かした地域の主体的なまちづくりの推進

朝来市創生会議意見

- ①（まちとつながるには）一緒に作業をして、汗をかく機会が必要。
- ②各地域自治協議会によって、事務局員の人数に差がある。そのため、活動内容にも差が生じている。
- ③地域の方の取り組みを促すため、（手続きを簡略化するなど）ハードルを下げる必要がある。

◆誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり

◎一人一人が地域とのつながりを持ち安心して自分らしく暮らすことができる地域共生社会の実現

朝来市創生会議意見

- ①在住外国人も安心して暮らすためには、所属する会社の役割も重要。
- ②（地域行事への参加を通じて）顔の見える関係づくりが必要。
- ③（強制ではなく）いつでも参加できる場づくりが必要。
- ④同居の祖父母の就労状況で、子どもの保育に係る負担が変わる。（祖父母に支援してもらえるのは朝来市の強み）

◎在住外国人など多様な人が安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現

朝来市創生会議意見

- ①アパート暮らしの外国人が多いので地域と結びつきづらい現状がある。
- ②在住外国人向けのゲートキーパーなどを整備することで交流が図れると考えられる。

◎誰もが生きがいを感じ健やかで幸せに暮らすことができる健幸づくりの推進

朝来市創生会議意見

- ①健康ポイント事業は自治協議会への寄付などができる、地域自治協議会運営側としてもとてもありがたい。
- ②自分事として捉え、将来につながる食育の実施に向けて、給食の時間を活用するなど食育の工夫が必要。例）大谷翔平が食事は大切という動画を流せば、多くの児童・生徒の気持ちが動くはず。

◆まちづくりや市民の暮らしを支えるための連携の強化

◎地域間連携・政策間連携などによる効果的・効率的な事業の推進

朝来市創生会議意見

- ①関連のある観光地との連携なども取り組む必要がある。（大河の関連地等）

◎持続可能な地域公共交通による安心した暮らしの実現

朝来市創生会議意見

- ①シニアカーの普及促進なども今後必要かもしれない。認知症防止にもつながるのではないか。

◎市民の多様な活動や暮らしを支えるための公共施設の適正配置

朝来市創生会議意見

※意見なし

◎生物多様性の保全と持続可能な利用による自然共生社会の実現

朝来市創生会議意見

- ① こどもたちの自然学習のために遊ぶ場などの整備が必要。
- ② 農業や観光としても生物多様性を。
- ③ KPI にイベントの開催件数などを加えるべき。